

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

東プレ株式会社（証券コード:5975）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A

■格付事由

- 自動車の骨格などプレス部品を主力とする独立系自動車部品メーカー。金型製作や高張力鋼板プレス加工で豊富なノウハウと実績を有し、日産を筆頭にホンダ、トヨタなど日系自動車メーカーと安定した取引基盤を構築している。定温物流関連事業は冷凍車製造販売で国内首位。冷凍装置とコンテナを一貫生産し、顧客ニーズにきめ細かく対応できることを強みとしている。
- 業績の回復が鈍いものの、良好な財務構成は今後も維持できると考えられる。主力のプレス製品関連事業は過年度の設備投資に伴う固定費負担が重い中、北米セグメントではコスト面で課題を抱えており、生産性や収益体質の改善余地が大きい。同セグメントの改善に向けた施策や利益回復のスピードを注視していく。ただ、受注状況を考慮すると、中期的な連結業績は自動車生産の持ち直しによって、一定の利益回復が可能と考えられる。また、設備投資はピークアウトしており、プラスのフリーキャッシュフローを確保できる見込みで、財務構成を悪化させる要因は現状少ないとみられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 23/3期は営業利益60億円（前期比12.4%減）、経常利益200億円（同17.6%増）と予想されている。半導体不足に起因する顧客側の生産調整や原材料価格の上昇などの影響を受けている。また、プレス関連製品事業では米国で人手不足を背景に人件費が上昇。工場の生産性が低下しており、平時と比べ追加費用を負担している格好で、北米セグメントは当面厳しい業況が見込まれる。なお、円安効果により、外貨建債権の評価益が膨らむことで経常利益が増加する見通しである。24/3期以降は自動車生産の増加を背景に業績は改善していくとみられる。
- 23/3期第2四半期末の自己資本比率56.9%であるなど、財務諸指標については良好である。今後3年間累計（22/3期～24/3期）の設備投資は国内及び北米での新車対応を中心に610億円を計画している。今後のEBITDA水準を踏まえると、プラスのフリーキャッシュフローを確保できる見通しで、有利子負債の削減が進むと考えられる。

（担当）上村 暁生・小野 正志

■格付対象

発行体：東プレ株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2019年10月21日	2024年10月21日	0.200%	A
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年12月4日	2025年12月4日	0.170%	A

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年11月15日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「自動車・自動車部品」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 東プレ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル